浦幌町立博物館

年報



Historical Museum of Urahoro

2021 (令和3) 年度事業報告 (2021.4.1~2022.3.31)

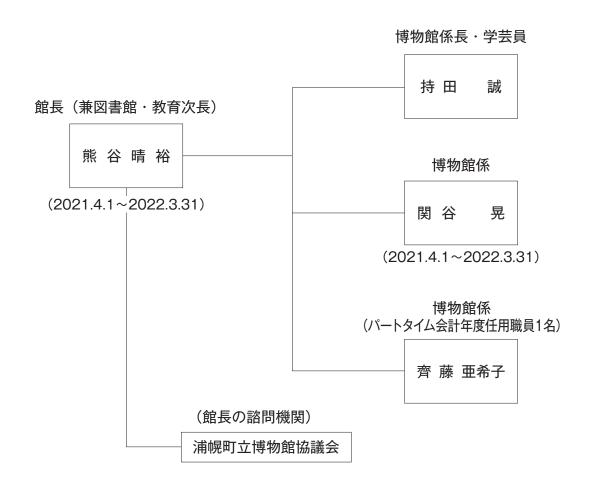
I。博物館運営方針

令和3年度浦幌町立博物館運営方針

浦幌町の多様な歴史、自然、文化に関する資料と情報を幅広く収集・保全し、地域の財産として将来へ引き継ぎ、多方面で活用していくために、浦幌町立博物館は次のような活動を展開します。

- 1. 昨年度に引き続き、博物館法の動向や全国の公立博物館の現状を鑑みつつ、これから 先の博物館のありようを考えるための連続講座やシンポジウムを開催します。
- 2. 博物館情報のデジタル化やインターネット対応を進め、ホームページの新規開設と博物館資料データベースの構築を実施します。
- 3. 町内の文化財情報の発信拠点として、国内外の各種データベースへの情報提供や連携 を進めます。
- 4. 博物館事業の見直しを進め、普及行事や企画展示の回数を減らし、資料の整理・登録作業、調査研究活動など、博物館活動の土台となる作業に活動の主軸を移します。
- 5. 博物館法にもとづく登録博物館化への検討を進めます。
- 6. 図書館との複合施設である当館のメリットを活かし、事業やレファレンス、地域資料の収集や、収蔵資料の有効活用、情報発信など、共同で推進できる体制の構築をはかります。
- 7. 停滞している東山防災倉庫の収蔵資料の搬出や吉野収蔵庫における資料整理活動を進めます。
- 8. 町内のさまざまな学術資源を、新規に文化財等として指定することを目指した取り組みを進めます。
- 9. アイヌ振興法の考え方にもとづき、ラポロアイヌネイションやアイヌ民族文化財団と連携して、アイヌ民族の歴史や文化を発信する活動に取り組みます。
- 10.「国際博物館の日」や「文化財保護強調月間」「近代化遺産の日」などを軸に、全国の博物館や文化機関と連携した、多様な博物館事業を展開していきます。

Ⅱ。博物館の組織



令和3年4月1日現在

職名	氏	名	住 所	備考
会 長	円 子	紳 一	北栄町2区	
副会長	西森	七 枝	新 町	
委 員	池田	哲	住吉町1区	浦幌中学校長
"	横山	利 幸	緑 町	浦幌小学校長
"	春日	基江	北町2区	
"	坂下	禮子	光 南	
"	齊藤	絵理佳	南 町	
"	長谷川	みなみ	厚 内	

(任期 令和3年12月18日まで)

Ⅲ。資料の受け入れ

博物館資料の新規受入件数(2022年3月31日時点) 【2019年より暦年で表示】

(件)

内	訳	2015(平成27)	2016(平成28)	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021 (令和3)
寄	贈	440	453	466	531	728	588	630
採	集	122	234	357	272	194	346	120
図書	資料	533	315	312	291	445	370	468
合	計	1,095	1,002	1,135	1,094	1,367	1,304	1,218

Ⅳ。資料の提供

収蔵資料の利用状況 (2022年3月31日時点) 【年度】

(件)

		2016(平成28)	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021 (令和3)
特別利用(館外	貸し出し)	3	4	1	5	5	8
特別利用(多	来館調査)	5	5	5	11	9	8
出 版	利 用	4	3	3	5	2	6
合	計	12	12	9	21	16	22

^{*}博物館活動、博物館紀要における調査研究利用・出版利用、一般報道使用をのぞく

V。出版。広報活動

- ○『浦幌町立博物館年報』第22号発行(2021年11月30日)
- ○『浦幌町立博物館紀要』第22号発行(2022年3月31日)
 - ・論文、資料紹介4編を掲載
 - ・第16号より国際逐次刊行物番号 (ISSN) を付与 (ISSN 2189-4787)
 - ・年報と共に全国の主な大学、博物館、図書館へ発送。
- ○『浦幌町立博物館だより』発行(毎月1日発行)
 - ・町内および十勝・釧路管内の主な博物館、図書館等で配付。PDF版をホームページにて公開。
- ○『広報うらほろ』に「博物館の窓」「アシール・レーラ」を連載
- ○日本福音ルーテル帯広教会記念誌編集委員会(編)『信仰の灯は永遠に:日本福音ルーテル池 田教会と吉田康登牧師の足跡』〔浦幌町立博物館企画展図録〕発行(2021年4月4日)

W. レファレンス業務

レファレンス対応状況 (2022年3月31日時点) 【年度】

(件)

	2016(平成28)	2017(平成29)	2018(平成30)	2019(令和元)	2020(令和2)	2021 (令和3)
来館・町内呼出によるもの	28	35	55	62	75	59
通信および他部局より転送	102	62	112	78	129	56
合 計	130	97	167	140	204	115

Ⅷ。博物館ボランティア

博物館活動の一環として、博物館ボランティアによる活動がある。博物館ボランティアの業務は、①資料整理等の補助業務 ②新聞資料等の整理 ③博物館図書の登録と整理 ④簡易な展示解説 ⑤調査研究活動の補助 ⑥その他館長が適当と認めた業務等が想定されるが、本館では①~③業務を主に行い、他に古文書解読も行われている。現在の登録者は10名であるが、日常的に活動している者は6名である。

なお、古文書解読の成果は、「浦幌町立博物館紀要」第21号に掲載し第22号では休載した。

Ⅲ。博物館の利用状況

(1) 博物館入館者の推移

(令和4年3月31日現在)

	(1.70 [11.7					
	2008(平	成20)年度	2009(平	成21)年度	2010(平	成22)年度	2011(平	成23)年度	2012(平	成24)年度	2013(平	成25)年度	2014(平	成26)年度
月	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数
小計	300	8,151	299	7,990	302	8,471	307	10,012	309	9,648	305	10,403	305	10,045
累計	2,777	87,903	3,076	95,893	3,378	104,364	3,685	114,376	3,994	124,024	4,299	134,427	4,604	144,472
	2015(平	成27)年度	2016(平	成28)年度	2017(平	成29)年度	2018(平	成30)年度	2020(令	介和元)年度	2020(4	冷和2)年度	2021(4	分和3)年度

	2015(平	成27)年度	2016(平	成28)年度	2017(平	成29)年度	2018(平	成30)年度	2020(名	和元)年度	2020(4	令和2)年度	2021 (4	令和3)年度
月	開館日数	入館者数	開館日数	入館者数										
4	25	697	26	927	26	603	27	663	26	777	17	419	25	367
5	27	835	25	979	26	806	27	1,045	27	915	14	41	15	226
6	25	1,218	26	661	26	670	26	671	26	696	25	185	8	101
7	27	754	27	897	26	882	26	1,261	26	1,024	27	332	27	417
8	26	1,919	25	1,853	28	1,352	28	1,340	27	919	26	342	25	381
9	26	807	25	903	26	783	25	872	25	783	26	294	0	0
10	27	826	26	472	26	813	27	1,119	26	1,129	26	331	26	345
11	24	958	24	807	25	510	26	692	26	657	23	296	22	298
12	25	576	26	693	26	929	26	595	25	747	26	255	26	315
1	23	701	22	639	23	454	23	799	22	748	22	182	21	243
2	23	1,025	24	900	24	893	24	957	24	629	21	227	22	160
3	27	845	27	587	26	708	26	1,248	12	634	26	389	26	300
小計	305	11,161	303	10,318	308	9,403	311	11,262	292	9,658	279	3,293	243	3,153
累計	4,909	155,633	5,212	165,951	5,520	175,354	5,831	186,616	6,123	196,274	6,402	199,567	6,645	202,720

緊急事態宣言発令に伴う臨時休館(2021年度は5/19~6/20および8/30~9/29)

(2) 団体入館者 (事前申込もしくは当日解説対応を実施した団体・個人 / 3月末日現在)

4月 6日 学童保育所	41名	10月28日上浦幌中央小学校3・4年生	10名
4月25日釧路教育大学	5名	10月 30日 北海道中央バス㈱シービーツアーズカンパニー	22名
5月 5日 帯広の森はぐくーむボランティアの会	8名	12月 8日 音更町高齢者大学院	24名
5月 8日 鹿追ジオパークビジターセンター	7名	12月 29日 学童保育所	27名
6月 26日 北海道立大学アイヌ・先住民研究センター	15名	1月 7日 学童保育所(図書館にて見学学習「ポプラディアで調べてみよう」実施」	34名
7月 4日 ハハハホステル	17名	1月 27日 浦幌小学校3年生(むかしのくらし授業)	35名
7月 25日 コープさっぽろ	8名	3月 1日 認定こども園 (パンダ組)	25名
8月 5日 学童保育所	41名	3月 2日 認定こども園 (ウサギ組)	25名
8月22日幕別町日新寿会	16名	3月 2日 認定こども園 (コアラ組)	23名
8月 24日 常盤なかよし会	18名	3月 29日 認定こども園 (バンビ組)	15名
10月 22日 幕別町しらかば大学	20名	合計 22件	456名
10月 25日 新人教職員研修	20名	(令和4年3月31日到	見在)

2021 (令和3) 年度 博物館教育普及事業報告

分類	領域	No.	事業名	事業概要	期日	来場者また	備考
類	识	INO.	争耒名 ————————————————————————————————————	争耒憱安	期 口	は参加者数	1佣 考
		1	コロナな時代を語り継ぐために	新型コロナウイルスにより変化した地域の生活を 身近な資料で記録する試みです。	2月27日~ 4月11日	344名 (記帳者のみ)	
		2	アイヌ伝統文化作品展	ラポロアイヌネイション主催のアイヌ刺繍教室の受 講生が製作作品を展示。	4月22日~ 5月23日	204名 (記帳者のみ)	ラポロアイヌネイショ ン共催
		3	ナキウサギ展 2020- 2021 まもりたい小さ な生命	東十勝に生息するナキウサギの生態や保全上の課 題などについて解説。	6月22日~ 7月25日	330名 (記帳者のみ)	ナキウサギふぁんくら ぶ共催
		4	紙の宝石 千葉定是の書 票 浦幌展	紙の宝石といわれる書票について、千葉定是氏の 作品を中心に紹介。	7月31日~ 9月5日	210名 (記帳者のみ)	浦幌町立博物館・浦 幌町立図書館共催
		5	うらほろ亭の想い出	レストラン大和の閉店を記念し、ひとあし先に閉 店した系列店「うらほろ亨」の資料を公開。	10月1日~ 10月24日	282名 (記帳者のみ)	
展		6	帯広百年記念館運営連 絡協議会移動展「過ぎ 去りし街角 荘田喜與 志が見た帯広・十勝巡 回」	十勝・帯広の昭和を記録した写真家荘田喜與志 氏の写真で振り返る十勝の歴史景観。	10月30日~ 11月16日	122名 (記帳者のみ)	
示	企画展	7	いろいろな看板展	収蔵資料のなかから「看板」を選んで大集合し、 その歴史や役割、多様性を紹介。	12月15日 ~1月16日	160名 (記帳者のみ)	
		8	トピック展「クリスマス の文化」	日本ではなじみの薄いクリスマスの文化について、 旧日本福音ルーテル池田教会の資料を中心に展 示。	12月18日~ 12月30日	未計数	
		9	トピック展「お正月の文 化」	お正月にみられる飾り物や料理などについて紹介。	1月8日~ 2月1日	未計数	
	_	10	全国孔版画年賀状展	十勝孔版画の会による毎年恒例の孔版画年賀状 作品展です。	1月27日~ 2月8日	73名 (記帳者のみ)	共催:浦幌孔版画サークル
		11	ぼくの、わたしの、書き 初め展	書道教室「もみじ子会」に通う子供たちの書き初 め作品を展示。	2月12日~ 24日	118名 (記帳者のみ)	共催:もみじ子会
		12	ひな人形展	収蔵資料のひな人形を公開。	2月27日~ 3月20日	185名 (記帳者のみ)	
		13	トピック展「コロナな 時代を語り継ぐために 2022」	新型コロナウイルスで変化した暮らしの記録。	3月1日~ 5月8日	未計数	
		14		2019年に豊頃町の沼で北海道で初めて記録された水草トリゲモの話題を中心に水草の研究や魅力についてお話頂きます。	4月21日	19名	講師:首藤光太郎(北海道大学総合博物館助教)
	夜学講座	15	厚内神社の絵馬と神社 のあゆみ	厚内神社所蔵の絵馬を通じて、厚内神社の歴史 を振り返る。	9月22日	中止	緊急事態宣言発令の ため中止
		16	「看板」を観察する	企画展「いろいろな看板」で展示されている資料 について解説。	12月15日	15名	講師:持田誠学芸員
		17	国際博物館の日記念講座「写真・映像に見る 1950年代アイヌの踊り」	残された写真から、釧路地方のアイヌ文化を振り 返ります。	5月16日	中止	講師:城石梨奈(釧路市立博物館学芸員)/ 緊急事態宣言発令のため中止
教育普及		18	企画展関連講演会「氷 河期からつないできた 命〜エゾナキウサギの 生態と保護」		7月4日	43名	講師:市川利美氏(ナキウサギふぁんくらぶ)
及		19	博物館講座「博物館実 習生発表会」	帯広畜産大学から来た3名の博物館実習生が、 自分の学んでいる専門分野について、ミニ展示を 通じて解説する。	8月6日	13名	講師:博物館実習生(吉 川徳恵・小南光・伊藤 綾乃)
	博物館講座 (うらほろスタイル ゼミナール)	20	企画展関連講座「書票 の愉しみ」	美しく技巧を凝らした書票(蔵書票)の魅力に ついて、製作者の千葉氏が自ら解説。	8月8日	17名	講師:千葉定是氏
		21	博物館講座「博物館実 習生発表会」	北海道大学から実習に来ている大学生が、学んでいる専門分野について解説。	9月18日	中止	講師:博物館実習生(三 枝弘典)/緊急事態宣 言発令のため中止
		22	博物館講座「駐在さん のしごと」	浦幌駐在所の駐在さんから、駐在所の日常、仕 事内容について解説してもらう。	10月17日	12名	講師:小笠原真二氏(浦 幌駐在所長)
		23	国際博物館の日記念講 座「写真・映像に見る 1950年代アイヌの踊 り」	残された写真から、釧路地方のアイヌ文化を振 り返ります。	11月6日	15名	講師:城石梨奈(釧路市立博物館学芸員)

分類	領 域	No.	事業名	事業概要	期日	来場者また は参加者数	備考
		24	2021年度北海道民族学 会第2回研究会	北海道民族学会公開講座で「浦幌の地理・歴史・ 博物館の役割」について解説。	11月13日	26名	講師: 持田誠学芸員 ほか主催: 北海道民 族学会
	上台 赤んっ 企む 三林 ロケ	25	北海道自然史研究会オ ンライン中継	北海道自然史研究会の研究発表会を博物館ロビ ーで視聴。オンライン中継で当館からも発表を 行った。	2月20日	6名	主催:北海道自然史研究会
	博物館講座 (うらほろスタイル ゼミナール)	26	『うらほろスタイル』か ら『地域をともにつく る学校』を学ぶ	なぜ教育大学が浦幌に注目するのか?	3月5日	11名	講師:宮前耕史氏(北 海道教育大学浦幌校) /共催:中央公民館・ NPOうらほろスタイル サポート
		27	厚内神社絵馬の文化財 指定	浦幌町初の有形文化財に指定された厚内神社の 絵馬について解説する。	3月16日	中止	新型コロナウイルス蔓延防止のため6月は中止。
	町民座談会	28	お正月の文化を語ろう	「おせち料理」を中心に、いまとむかしのお正月 文化の違いなどについて自由に語り合う。	1月13日	6名	話題提供者:古賀詠 風氏
	夏休みこども博物館	29		学童保育所出前授業の実施			
	冬休みこども博物館	30		学童保育所出前授業の実施			
教		31	<月例調査観察会> 豊北植物調査会	毎月1回豊北原生花園を歩き、植物のフェノロジー(生物季節観測)を調査・記録する。	5月~11月 毎月1回	29名	新型コロナウイルス 蔓延防止のため6月は 中止。
教育普及		32	<自然観察会> ウラホロイチゲ観察会	日本では浦幌で最初に発見された植物ウラホロイ チゲの自生地を巡って観察する講座	4月29日	21名	講師:坂下禮子氏
		33	<自然観察会> 「春の森林公園をある く」	森林公園の春の植物や動物などを観察します。	5月4日	27名	講師:持田誠学芸員
		34	<自然観察会> 「青い鳥を探そう」	夏鳥オオルリの美しい姿を、木々の葉が茂って観察しづらくなる前の初夏に観察する	5月2日	25名	講師:春日基江氏(トリおばさん)
	移動講座	35	<移動博物館> 「上浦幌の地形を巡る」	浦幌川の特徴ある地形を、地形図をみながら実際 にたどる。今回は上浦幌地区を巡検する。	7月11日	18名	講師:乙幡康之(ひが し大雪自然館学芸員)
		36	<移動博物館> 「ウチダザリガニバス ターズ」	特定外来生物ウチダザリガニの捕獲を体験し、生態系について学ぶ。	8月1日	13名	浦幌の自然を楽しむ会 共催
		37	<ふるさと探訪> 列車で学ぶ地理・歴史	列車を活用した鉄道遺産と地理歴史巡検	10月23日	23名	北海道文化財保護強調月間/全国近代化遺産一斉公開2021
		38	<自然観察会> 秋の渡り鳥観察会	ハクガン、シジュウカラガン、マガン、ヒシクイなど秋に大終結する渡り鳥を観察する。	11月3日	中止	雨天のため中止
		39	<自然観察会> 春の渡り鳥観察会	ハクガン、シジュウカラガン、マガン、ヒシクイな ど秋に大終結する渡り鳥を観察する。	3月26日	10名	予定
	ロビーコンサート	40	中止				
	ラポロアイヌネイシ ョン共催	41	「初心者アイヌ文様刺 繍講座」	アイヌ文様刺繍について、その独特の技法を伝承 者から学ぶ連続講座	不定期		講師 廣川和子ラポロアイヌネイション共催

Ⅲ。学芸員の執筆活動・依頼講演・社会活動等

(1) 共同研究

- ○浦幌町内における特定外来生物ウチダザリガニの実態に関する調査 (浦幌の自然を楽しむ会)
- ○釧勝国境地域の植物相に関する研究(釧路市立博物館)
- ○環境省モニタリングサイト1000水生植物調査(環境省、国際湿地保全連合、釧路市立博物館、新潟大学ほか)

(2) 論文・出版(当館紀要への掲載を除く)

- ○大澤剛士・三橋弘宗・細矢剛・神保宇嗣・渡辺恭平・持田誠, GBIF日本ノードJBIFの歩みとこれから: 日本における生物多様性情報の進むべき方向. 保全生態学研究, 1-15.
- ○持田誠・高田祐一, 紀要論文等の書誌情報流通における課題と「文化財論文ナビ」の取組. カレントアウェアネス, 350:1-5.
- ○持田誠、「博物館」と「学芸員」の問題は別々だと痛感した20年. Museum Data,82:15-20.
- ○持田誠,博物館活動奨励賞受賞に寄せて/地域博物館に学芸員が存在する意味.博物館研究,57 (3): 23.
- ○持田誠, 分科会2「自然史は博物館で生き残れるのか?:標本・人材・文化と自然史. 博物館研究, 57 (3): 16-17.
- ○持田誠, 十勝地方における自然保護問題の一例. 北海道の自然保護, 60:56-62.
- ○持田誠, 地域博物館におけるコロナ関係資料の収集。COVID-19の下で、記録に向き合う: 63-74.
- ○土田和代・持田誠,戦前・戦後の国後島および釧路市における生活史の一断面:元郵便局長 土田一雄 氏への聞き取り調査記録、釧路市立博物館紀要,40:15-24.
- ○日本福音ルーテル帯広教会記念誌編集委員会(編).信仰の灯は永遠に:日本福音ルーテル池田教会 と吉田康登牧師の足跡〔浦幌町立博物館企画展図録〕

(3) 研究発表等

- ○2021年9月12日:社会教育における博物館の立ち位置:博物館法改定を見据えて 日本社会教育学会 第68回研究大会ラウンドテーブル「社会教育法70年と社会教育法制をめぐる課題 (その4) 博物館 法改正をめぐって (その2)
- ○2021年10月7日:今を集める博物館/全国博物館長会議
- ○2021年11月11日:コロナ関係資料の収集と博物館 市民マイスター講座2021
- ○2021年11月13日:浦幌の地理・歴史・博物館の役割 北海道民族学会2021年度第2回研究会
- ○2021年12月15日:根室本線全通100年で振り返る十勝の鉄道 めむろ柏寿学園講演会
- ○2022年2月20日:自然史は博物館で生き残れるのか?全国博物館大会シンポジウムの報告と投げかけられた課題 北海道自然史研究会(オンライン)
- ○2022年3月8日:地域博物館におけるコロナ関係資料収集2年目の現状と課題 シンポジウム「コロナ禍と博物館の2年 資料の収集・展示をめぐる課題と展望」(オンライン)

(4) 表彰

- ○第69回全国博物館大会(2021年11月17日~18日、札幌市)において 博物館活動奨励賞を受賞。
 - ・受賞論考「コロナ関係資料収集の意義と必要性」
 - ·掲載誌『博物館研究』第55巻第11号 (2020年)